

# 学級活動指導案

## 議題「学級目標達成に向けた取組を考えよう」〔学指要領：(1)ア〕

令和6年〇月〇日(〇) 第5校時 第一音楽室  
邑楽町立邑楽中学校 3年〇組 指導者 〇〇 〇〇

### I 議題の構想

#### 1 育成を目指す資質・能力及び生徒の実態

	資質・能力	生徒の実態
知識及び技能	・学級や学校の生活上の諸問題を話し合っ て解決することや、他者と協働して取り 組むことの大切さについて理解し、合意 形成の手順や、活動の方法を身に付ける ようにする。	
思考力、判断力、 表現力等	・学級や学校の生活をよりよくするための 課題を自分事として捉え、解決するた めに話し合い、多様な意見を生かして合 意形成を図り、協働して実践すること ができるようにする。	
学びに向かう力、 人間性等	・生活上の諸問題の解決や、協働し実践 する活動を通して身に付けたことを生 かし、学級や学校における人間関係を よりよく形成し、他者と協働しながら 日常生活の向上を図ろうとする態度を 養う。	

#### 2 評価規準

知識・技能	・学級や学校の生活上の諸問題を話し合っ て解決することや、他者と協働して取り 組むことの大切さについて理解し、合 意形成の手順や、活動の方法を身に 付けている。
思考・判断・表現	・学級や学校の生活をよりよくするた めの課題を自分事として捉え、解決 するために話し合い、多様な意見を 生かして合意形成を図り、協働し て実践している。
主体的に学習に 取り組む態度	・生活上の諸問題の解決や、協働し 実践する活動を通して身に付けたこ とを生かし、学級や学校における人 間関係をよりよく形成し、他者と 協働しながら日常生活の向上を図 ろうとしている。

#### 3 指導及び評価、ICT活用の計画 \*別紙参照

#### 4 議題選定の理由

本学級の生徒は、「尊重」「全力」「成長」そして「進路実現」というキーワードを基に、「全緑成尊～Go for your Big dreams～」という学級目標を4月当初に作成した。毎月、学級目標の達成度について振り返り、改善点などを基に学級会で話し合いを行ってきた。そのため、生徒たちは日頃から学級目標を意識し、他者と協働しながら日常生活や様々な学校行事に取り組もうとする姿勢が身に付いてきている。三者面談を終え、自分自身の進路決定へと向かうこの時期に、あえて学級としてできる取組について話し合い、仲間や学級全体のためにできることを考え、行動することは、これまで学級全体で取り組んできた学級目標の達成へと近付いていることを自覚することにつながる。そして、各自が学級の課題を自分事に捉え、他者と協働しながら日常生活の向上を図っていこうとする自治的能力を育成できると考え、本議題を選定した。

## II 本時

1 **ねらい** 学級目標の達成に向けた学級での具体的な取組について、効果と実現性という二つの視点を基に話し合うことを通して、折り合いを付けながら合意形成できるようにする。

## 2 展開

【★ICT活用に関する事項】

<p>主な活動 予想される生徒の意識〔S〕</p>	<p>○指導上の留意点 ◆目指す生徒の姿（観点）</p>
<p>1 <b>事前に決定した議題や提案理由を確認し、本時のめあてをつかむ。</b>（10分） 【★提示】</p> <p>＜めあて＞ 学級目標達成に向けた具体的な取組を決めよう。</p> <p>S：進路実現という学級目標を達成するために、学級全員で受験を乗り越えるための取組を考える必要があるな S：今日の学級会でも、「みんなもよく、自分もよい」取組を決められるといいな。</p>	<p>○話し合いの必要性について確認し、目的意識を持って話し合いに参加できるように、計画委員が事前アンケートの結果や提案理由を提示する場を設定する。</p>
<p>2 <b>班で具体的な取組について話し合う。</b>（10分） 【★共同編集】 【★思考の補助】</p> <p>S：不安な気持ちを少しでもなくすために、レクをするのはどうか。それに、休み時間に問題を出し合ったり、勉強方法を共有したりするのは効果が高そうだな。 S：友達の「不安な気持ちを共有できたら、お互いに安心できると思うから、お悩み相談会を開く」という意見は、実現性が課題になりそうだな。 S：みんなの意見を聞くと、学級の雰囲気づくりに関わる取組も大切だと感じるな。</p>	<p>○一人一人が議題に対して自分事として捉えられるように、自分の考えを気軽に発表する場として、少人数での話し合いの場を設定する。 ○個々の意見の特徴を捉えられるように、「効果」と「実現性」という二軸で意見を可視化し、班で整理することができるシンキングツールをタブレット内に準備する。 ○次の活動において、具体的な取組に焦点化した話し合いができるように、GJ委員（学活準備委員）に対して班ごとの意見の共通点や相違点等を見つけておくよう助言する。</p>
<p>3 <b>班で出た意見を学級全体で共有し、意見を分類したり整理したりして、共通点や相違点を確認する。</b>（10分） 【★共有】 【★思考の補助】</p> <p>S：「休み時間は勉強したい人もいる」という意見を聞くと、レクの実現性は低い気がするな。 S：勉強方法の共有は相談会の中でもできそうだな。 S：お悩み相談会はいつ、だれがやるのかを決めることで実現性を高めることができそうだな。 S：全体の意見をまとめると、不安な気持ちの解消に関する取組と学級の雰囲気づくりに関する取組の二つにまとめられそうだな。</p>	<p>○一人一人が学級の合意形成への参加意識を実感できるように、班で出た意見についての説明は、その意見を考えた生徒を指名して発言してもらうようGJ委員に助言する。 ○合意形成に向けて、班で出た多様な意見を生かせるように、少数意見の中から、効果が高く実現性が低いとされた意見などについても話題に取り上げる。</p>
<p>4 <b>効果と実現性という視点を基に、集団で合意形成を図る。</b>（20分） 【★思考の補助】</p> <p>S：受験お悩み相談会は希望者が集まって、週1回昼休みに開催することに賛成だな。 S：「みんなもよく、自分もよい」取組にするためには、授業中や休み時間に自分以外の人のことを考えて行動し、全員で雰囲気をつくっていくことも大切だな。 S：効果と実現性を考えて、「相談会」と「自分以外の人のことを考えて行動する」という二つの意見を実践することに決まったよ。</p>	<p>◆目指す生徒の姿（思）</p> <p>ワークシートの記述内容から、「学級目標達成に向けた学級での具体的な取組について、友達の意見と自分の意見を比較しながら考え、表現しているか」を評価する。</p> <p>○自分たちで「みんなもよく、自分もよい」取組を決められたよさを実感し、今後の学級作りへの意欲を高められるように、多様な意見を生かしながら合意形成できたことを称賛する。</p>
<p>＜振り返り＞</p> <p>S：自分たちで考え、「受験の悩みを共有する相談会を開催する」と「自分以外の人のことを考えて行動する」に決めることができた。一人一人が進路実現していけるように、今日決めたことを意識し、友達と協力しながら実践していきたい。</p>	

(別紙)

3 指導及び評価、ICT 活用の計画

過程	日時	主な活動	目指す生徒の姿 (観点)〈評価方法〉
事前	11/11	・計画委員が、打合せフローチャートを基に見通しを確認する。	・学級会への見通しを持ち、自分なりの意見を考え、入力・発表する等、意欲的に取り組もうとしている。 (思)(主)〈ワークシート〉
	11/14	・計画委員が、アンケート調査や学級目標の振り返りを基に議題を選定する。(あ)	
	11/18	・学級全体で議題を決定する。(い)	
	11/19	・決定した議題に対して一人一人が自分の考えを持つ。(う)	
	11/21	・計画委員が、学級会の進め方等について確認する。	
本時	11/25	・学級目標達成に向けたクラスでの取組について話し合い、具体的な内容を決定する。(い)	※展開参照
事後	11/26	・計画委員が、学級会報告書を作成し、掲示する。	・学級会で話し合ったことや自分の役割を自覚し、友達と協働して実践している。 (思)(主)〈観察・アンケート〉
	12/ 2	・活動状況についてアンケート調査をする。(あ)	
	随時	・活動状況を振り返り、今後の活動に生かす。	

\*活用する学習支援ソフト等：(あ) Google Forms (い) ロイロノート (う) Google Classroom

(参考資料) 打合せフローチャート

